

令和5年3月25日（土）に、文京キャンパスにおいて、令和4年度定時評議員会が開催され、「令和5年度学校法人拓殖大学事業計画・予算案」が審議され、原案通り承認されました。

令和5年度の事業計画及び予算の概要は、次のとおりです。

I. 事業計画

◆令和5年度事業計画策定について

はじめに

予算編成に当たっては、18歳以下人口の減少加速や入学定員管理の厳格化等により私立大学を取り巻く環境がますます厳しい状況にある中で、法人並びにその設置する学校の設置目的及び使命を達成し、持続可能な安定した財政基盤と時代の要請に応える教学体制を構築するため、費用対効果の妥当性・適切性、既存事業の見直しなど多岐にわたり検証しました。

予算編成における取り組みとして、継続事業（経常的支出）については、節減の姿勢を堅持し当年度予算額（令和4年度）のゼロシーリングを原則としています。なお、中長期計画で策定された基本戦略に基づいた事業を優先的に実行することとしており、具体的な事業内容は、後述の「令和5年度事業概要」に示すとおりです。

令和5年度事業方針について（理事長）

1. 法人運営の基本方針

21世紀の今日、私達の住まう地球の環境は近代文明の発達に伴う負の遺産として、気候の温暖化による自然破壊や災害の増大に加え、グローバル化やデジタル化による経済的格差の拡大などが深刻となり、これらを解決するための新たな価値観の創造と社会の構築が求められています。

この様な時代にあって、わが国は少子化に伴う人口減少や停滞する経済問題へ対応するための更なるイノベーションの創出や、国連が提唱した持続可能な開発のための目標（SDGs）の取り組み、地域共生社会の振興、脱炭素社会の実現に向けた取り組みなど、将来に関わる喫緊の重要課題が山積しています。

今年6月7日に閣議で決定された「経済財政運営と改革の基本方針2022」では、質の高い教育の実現や経済社会の活力を支える教育・研究活動の推進等々が公表されるとともに、学校法人の更なるガバナンス改革が求められています。

本学は2021年度より来るべき2030年に向けて「学校法人拓殖大学中長期計画【教育ルネサンス2030】」を策定し、各設置校が時代の要請に応えるべく「教育の質の保証」を推進し、グローバル人材（「拓殖人材」）育成の更なる推進など、その基本戦略を策定し、各年度、その諸事業を順次展開することとしています。

令和5（2023）年度の予算については、特に4年目を迎える新型コロナウイルス感染症の対応に加え、

- （1）令和4（2022）年2月末に勃発した、ロシアによるウクライナ侵略による世界のエネルギー・食糧などの物資の不足や、円安による物価高騰が予想される経済的に不安定な状況を考慮する。
- （2）コロナ禍により停滞していた本学の「ブランディング活動（学生募集活動や広報活動も含む）」の強化推進を図る。
- （3）設置校拓殖大学と北海道短期大学の教育事業の一層の連携強化により、北海道短期大学の持続可能な教学経営体制の整備強化を図る。

以上の年次事業を展開するためには、何よりも法人そのものの存在基盤となっている「学園共同体」、すなわち学生・教職員ならびに評議員・卒業生との信頼の確保と連携を強化し、本学の明るい未来の構築と建学の理念（令和4年改正の学則第1条及び第2条に基づく）の遂行に向け、全力で取り組まなければなりません。

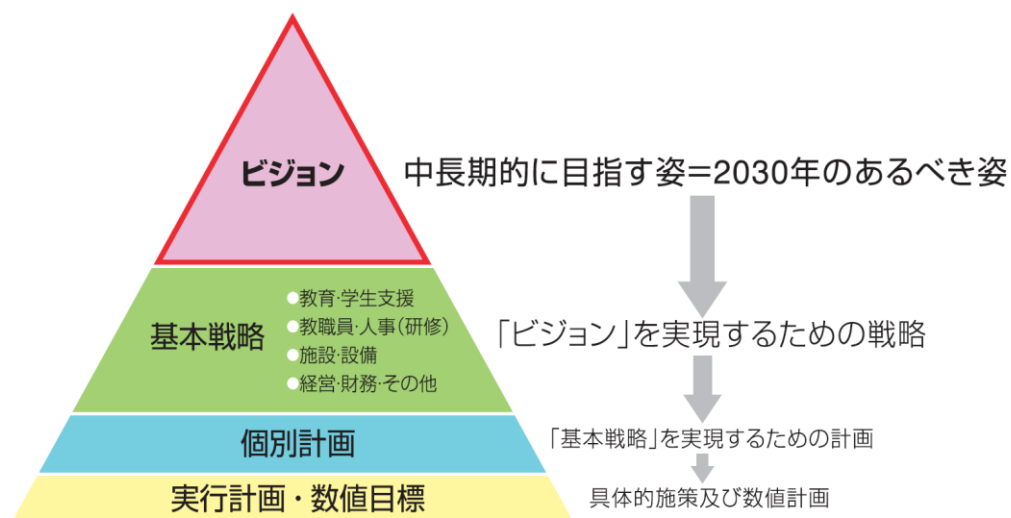
2. 学校法人拓殖大学中長期計画【教育ルネサンス2030】

令和2年に認証評価基準を厳格化する「学校教育法の一部を改正する法律」と「私立学校法の一部改正」が行われ、私立大学における教育の質の向上を図るため中期的な計画の策定義務化や役員の責任の明確化によるガバナンスが強化されることとなり、同時に各学校法人の施策の詳細部分については、私立大学の関係団体等が「私立大学版ガバナンス・コード」を行動規範として策定し、私立大学の主体性を重んじ自律的なガバナンスの確保が求められています。本

学は、来るべき2030年に向けて「学校法人拓殖大学 中長期計画【教育ルネサンス2030】」が策定されたことにより、各設置校（拓殖大学並びに拓殖大学北海道短期大学、拓殖大学第一高等学校）が時代の要請に応えるべく「教育の質保証」を推進し、グローバル人材「拓殖人材」育成の更なる国際化への充実を図り、「ミッション」・「ビジョン」に基づく「教育・学生支援」、「教職員・人事（研修）」、「施設・設備」、「経営・財務」の基本戦略に基づき諸事業を展開します。

構成

ビジョンを基に基本戦略や個別計画等を策定



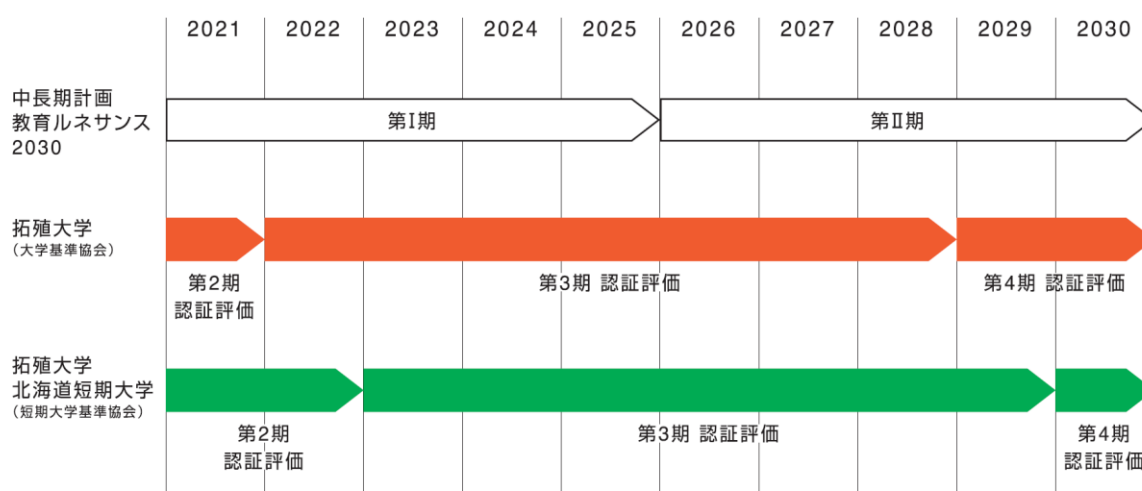
期間

2030年に向けて第I期・第II期と分けて展開

第I期：2021(令和3)年4月～2026(令和8)年3月

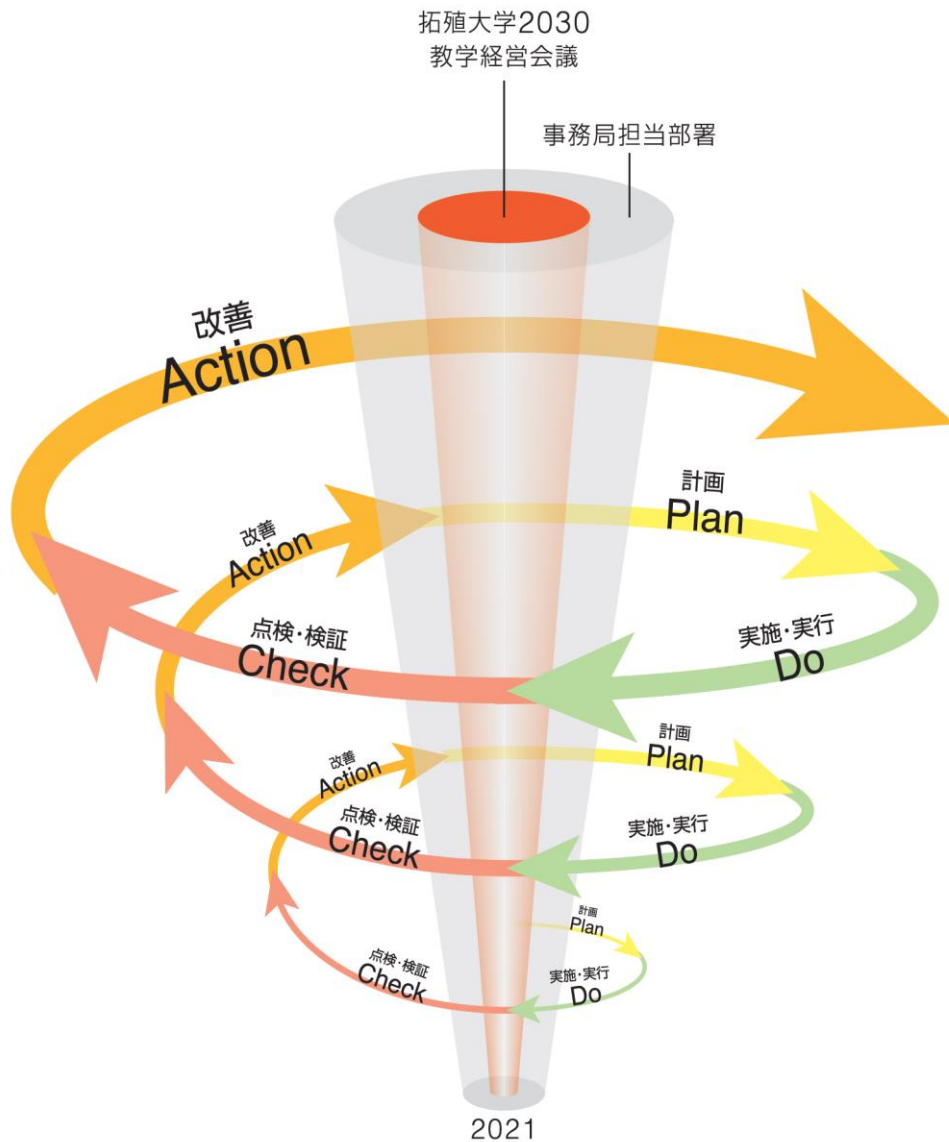
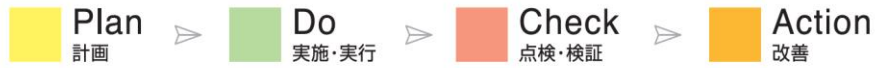
第II期：2026(令和8)年4月～2031(令和13)年3月

※5年目の2025(令和7)年に計画を見直します。



PDCAサイクルにより中長期計画運営を実施

中長期計画は定期的に進捗状況をチェックするとともに、PDCAサイクルによる進行管理を行います。また大学基準協会による認証評価結果や社会状況の変化等により適宜見直しを実施します。



毎年度の予算編成と事業計画は、中長期計画を基に作成します

3. 令和5年度予算編成にあたって

基本的考え方

令和5(2023)年度は、中長期計画の「ビジョン」(=2030年のあるべき姿)実現に向け策定した「基本戦略」・「個別計画」・「実行計画・数値目標」、「アクションプラン」を考慮し、事業計画を立案すること。

- (1) 「学校法人拓殖大学 中長期計画【教育ルネサンス2030】」の進捗状況と達成状況を検証し、各設置校(拓殖大学並びに拓殖大学北海道短期大学、拓殖大学第一高等学校)は、時代の要請に応えるべく「教育の質保証」を推進し、グローバル人材「拓殖人材」育成の更なる充実を図るとともに、今まで以上の「財政基盤の強化」に取り組む必要がある。
- (2) 事業計画策定にあたっては、本法人の現在保有している限られた資産(人的財産・歴史的財産・土地・建物)を最大限に有効活用して、各設置校の発展を図るために、全ての事業について費用対効果を原則とする。
- (3) 予算編成にあたっては、文部科学省による入学者数の抑制強化による影響等を充分勘案し、学生募集力の強化、教育の質の向上のための教学組織の改革に取り組みつつ、財政基盤の充実・安定を図るべく事業計画を策定することとする。特に大学・短期大学における18歳人口の減少、高等学校における15歳人口の減少を踏まえ、物件費及び人件費の抑制に努める。
- (4) 公益財団法人「大学基準協会」の第三期認証評価(令和3年度)を踏まえ、PDCAサイクルに基づく内部質保証機能を推進し、北海道短期大学においては一般財団法人「大学・短期大学基準協会」の認証評価を踏まえ事業計画を立案する。
- (5) 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を講じながら対面授業を実施しているが、引き続き「ハイブリット型」授業への対応、施設・設備の「デジタル化」への諸準備を行いつつ、ウィズコロナ・アフターコロナ時代における学生への支援を図る。
- (6) 「学園共同体」として、各設置校間(拓殖大学・拓殖大学北海道短期大学・拓殖大学第一高等学校)の相互理解や連携強化により、力の結集を図る。
- (7) 事務局各部長は、所属各課の令和3年度の決算結果及び令和4年9月までの事業評価を総括し、令和5(2023)年度事業計画(予算)策定にあたっては、部単位を基本とし、次のとおりとする。
 - ① 新規事業については、中長期計画に基づく事業を優先し、別途事務局長に申請する。
 - ② 継続事業(経常的支出)については、原則として令和4年度当初予算額のゼロシーリングとする。

なお、これまでの事業内容を再度見直し、費用対効果を検証し、極力抑制に努める。

◆令和5年度事業概要

物件費について、継続事業（経常的支出）は、令和4年度当初予算額を上限に既存事業を見直し、費用対効果の妥当性・適切性など多岐にわたり検証しました。その結果、継続事業（経常的支出）は、電気料金、ガス料金の高騰や外国為替の影響等により前年度に対し+3.70%となりました。

学校法人拓殖大学中長期計画【教育ルネサンス2030】の「ビジョン」に基づき実施する令和5年度の主な新規事業等は以下のとおりです。

◎拓殖大学教育ルネサンス2030

1. 拓殖大学

(1) 教育・学生支援

①教育ルネサンス2030プロジェクト（英語力の強化・向上、実践的な職業教育の充実等）

②SDGs特設ウェブサイト制作

③高等教育の修学支援新制度による授業料等減免

④文京 C館アクティブラーニング教室整備

⑤文京 C館300人教室固定机PC用コンセント設備設置

⑥文京 C館1階PC・CALL教室設備更新

⑦文京 C館CALL3教室教卓用・学生用椅子更新

⑧八王子 A館少人数用アクティブラーニング教室座席数増設

⑨八王子 A館アクティブラーニング教室整備

⑩八王子 工学部棟情報実験室1、PC室1・3・4、WS室2設備更新

⑪八王子 工学部棟エレクトロニクス実験室I AD・DA交換実験装置、デジタルオシロスコープ入替

⑫八王子 工学部棟エレクトロニクス実験室II実験机用棚板入替、支柱設置

⑬八王子 第一体育館アリーナ床研磨塗装工事

⑭八王子 野球場3塁側防球ネット更新

⑮八王子 冷水機更新及び増設

⑯インターネット出願システム（学校推薦型指定校試験、体育推薦試験等）導入

⑰年内選抜募集強化イベント等実施

⑱外国語学部、工学部、国際学部募集強化見学会実施

⑲卒業生人事採用担当者と就職関係教職員の懇談・交流会実施

◇オレンジプロジェクト

①学生生活を充実させるためのグローバルな活動や実践的な体験等による学生支援

②大学環境改善から企画提案力を磨き、大学力（ブランド）の向上へ繋げるキャリア支援

③地域共存型の文京キャンパスの特性を活かしたコミュニティ形成と防災啓蒙活動

④八王子国際キャンパスを地域と共に活性化、持続可能なまちづくりと防災活動の推進

⑤女子学生満足度向上のための諸活動

⑥スポーツオープンキャンパス、社会人基礎力育成グランプリ実施他、全グループ共通経費

(2) 施設・設備

◇文京キャンパス

①国際教育会館 自動火災報知設備更新

②非常放送設備更新工事

③留学生寮 自動火災報知設備更新

④留学生寮 3・4階シャワー室改修

⑤入退出管理装置、空調設備用自動制御機器等保全部品交換

◇八王子国際キャンパス

①図書館 空調機更新工事（八王子国際キャンパス整備事業）

②工学部棟 4階空調機設置工事（八王子国際キャンパス整備事業）

③実験実習工場 空調機設置（八王子国際キャンパス整備事業）

④実験実習工場 屋根・外壁補修工事（八王子国際キャンパス整備事業）

⑤管理研究棟 照明器具交換工事（八王子国際キャンパス整備事業）

⑥産学連携研究センター 照明器具交換工事（八王子国際キャンパス整備事業）

⑦第二体育館 アリーナ照明器具交換工事（八王子国際キャンパス整備事業）

⑧サッカー・ラグビー場 夜間照明交換工事（八王子国際キャンパス整備事業）

⑨B館 外壁補修工事（八王子国際キャンパス整備事業）

- ⑩第一・第二体育館 扉交換工事（八王子国際キャンパス整備事業）
- ⑪麗澤会館 空調用冷温水循環ポンプ交換工事
- ⑫第二体育館 プール濾過装置濾材交換工事
- ⑬管理研究棟 教員メールボックス更新
- ⑭恩賜記念講堂 AV機器更新工事

◇ICT設備

- ①学務システムハードウェア更新
- ②教研系ネットワーク機器（Coreスイッチ、Edgeスイッチ）更新
- ③事務系ネットワーク機器（Coreスイッチ、Edgeスイッチ）更新
- ④教研系・事務系Proxyサーバのクラウド化
- ⑤Blackboard連携システムクラウド化、その他システムのクラウド化の基盤整備
- ⑥文系教員研究室用・事務職員用PC更新
- ⑦工学部ネットワーク（工学部LAN）幹線等更新工事
- ⑧各種事務システムWindows 11対応及びサーバ移行
- ⑨PCウイルス対策強化

(3) 教職員・人事（研修）・経営・財務・その他

- ①「押印申請」及び「会議室予約」の電子申請システム導入
- ②学生募集管理システム導入
- ③新卒採用情報掲載サービスの利用

2. 北海道短期大学

- ①高等教育の修学支援新制度による授業料等減免
- ②図書管理システム機能追加及び図書館PC機器更新
- ③事務管理システム（教務及び経理）更新
- ④学内ネットワークサーバ機器更新
- ⑤花卉温室 遮光カーテン改修工事
- ⑥実験・実習農場 ビニールハウス灌水用大型ポンプ更新
- ⑦実験・実習農場 堀取機更新
- ⑧学生募集強化 地域振興セミナー開催
- ⑨学生募集強化 旭川市内路線バスラッピング広告
- ⑩学生募集強化 旭川市「北の恵み食べマルシェ」への出展
- ⑪学生募集強化 広報用チラシデザイン制作委託

3. 第一高等学校

- ①新入生用タブレット端末購入（東京都補助事業）
- ②教室用プロジェクター、一斉放送受信用チューナー等設置（東京都補助事業）
- ③校舎棟 ウッドデッキ改修工事
- ④校舎棟 ガラスフィルム張替工事
- ⑤校舎棟 廊下・階段床シート張替工事
- ⑥校舎棟 エントランス手摺り補修工事
- ⑦多目的ホール電動ロールスクリーン改修工事
- ⑧校務システム追加カスタマイズ（成績一覧表・調査書・入試等）
- ⑨教員・教室用ICT機器補充
- ⑩化学室薬品庫更新
- ⑪校内保守点検用タラップ設置及び延長工事

◎その他

1. 拓殖大学

- ①入構者への検温体制整備
- ②教室等への空気清浄機設置
- ③高木伐採作業
- ④拓殖大学北海道短期大学への資金援助